

平成27年度第5回 医療法人社団主体会倫理委員会 会議記録の概要	
開催日時	平成 27 年 10 月 5 日 16 時 ~ 16 時 30 分
開催場所	小山田記念温泉病院 第3会議室
出席委員	毛受、森、北村、原、山中、伊藤、浅野、家崎、牧野、坂(敬略称、順不同)
新規研究計画の審議	
申請者	野口 佑太
研究内容 要旨	透析患者と地域在住高齢者の自律神経活動の違い 先行研究により、透析中の運動療法は、運動耐容能改善や炎症状態の改善、QOL改善などをもたらすことが明らかにされている。しかし、自律神経活動への影響について報告されたものは少ない。今回、透析患者と地域在住高齢者の自律神経活動の違いについて調査し、透析中の運動療法の効果について検討していきたい。
審議結果	承認
意見	本研究は大学病院医療情報ネットワーク研究センター臨床試験登録システム(UMIN-CTR)に登録されている。
新規研究計画の審議	
申請者	上田 誠
研究名	片脚30秒立ち上がりテストの検討
研究内容 要旨	下肢筋力の評価として現在一般的に使用されているCS-30は筋力水準の高い対象者には不適切であり、台の高さを変える立ち上がりテストは下腿長や足関節可動域制限の影響を受けるといった短所がある。我々は片脚30秒立ち上がりテスト(以下:片脚CS-30)がこれらの短所を補える方法であると考えた。本研究では健常成人を対象とし、片脚CS-30と膝伸展筋力や脚伸展筋力との関係を比較検討することを目的とした。
審議結果	条件付承認(確認は委員長一任)
意見	本研究は大学病院医療情報ネットワーク研究センター臨床試験登録システム(UMIN-CTR)に登録予定であることを説明書に記載する。
新規研究計画の審議	
申請者	加藤 康太
研究名	要支援。要介護高齢者におけるサルコペニアと転倒の関係について
研究内容 要旨	サルコペニアの評価として、握力、10m通常歩行速度、骨格筋量(体組成計を使用)を測定し、それと同時に過去の転倒歴について聞き取り調査を行なう。また、ビデオカメラにて歩行動画を撮影し、3次元動作解析装置にて歩行変動を解析する。そして、要支援・用介護高齢者において、サルコペニアの有無による転倒及び歩行変動の特性について明らかにする。
審議結果	条件付承認(確認は委員長一任)
意見	本研究は大学病院医療情報ネットワーク研究センター臨床試験登録システム(UMIN-CTR)に登録予定である。 研究責任者の加藤康太は研究機器の貸与を受ける鈴鹿医療科学大学の大学院生であることを、説明書に記載する。 研究結果を鈴鹿医療科学大学で発表する可能性があるが、研究資料・情報については鈴鹿医療科学大学へ提供することはないことを、説明書に記載する。

新規研究計画の審議

申請者	萩野 由里絵
研究名	「慢性期失語症者の環境音による喚語能力について」
研究内容 要旨	擬音語や擬態語として用いられるオノマトペは、近年研究報告は複数されてはいるが、失語症における環境音についての研究は少ない。 今回の研究として、環境音に関して長角理解と語想起能力をオノマトペ使用時と比較し臨床に活かせるようにしたい。
審議結果	差し戻し
意見	コントロール群が必要かどうか、対象を運動性失語症者、または感覚性失語症者に限定すべきかどうかなどについて、再検討していただく。